

支部だより

令和8年1月
第106号

新年のご挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えの事と存じます。

昨年支部活動に対し、新年一年度の集 tsudoi に「多様でありながら、ひとつ」の掲載を頂きました。その記事を執筆頂きました M・K 様に心より感謝申し上げます！

世界中から数多くのパビリオンの建設、内外の会場設営と、大屋根リングを基調に多様な問題を次々とクリアした万博、素晴らしき本物の素材や自然の香り、その地域の風土に基づいた美しさを体感する事が出来ました。

さて、本年も参加した皆様が感動出来る多彩な行事を予定しております。ひとつの行事を計画、実施、無事に終える為には、苦労は絶えませんが、参加者の皆さんが感動して頂ける事を目指し、各行事に挑戦して参ります。

本年も当会の魅力向上に向け地域に根ざした活動を通じ、建築士会の社会的な信頼の向上に努めて参ります。

引き続き、変わらぬご支援を賜ります様、宜しくお願い申し上げます。
令和八年元旦
(加古川支部 支部長 坂上 浩司)

「新年会&新春ボーリング大会」のお知らせ

毎年恒例の『新年会・ボーリング大会』を2月7日(土)に執り行います。

支部会員の交流と親睦を深める行事であります。新しい年を迎え気持ち新たに加古川支部の皆様と親交を深めたいと思います。

ここ数年で新入会員も増え、より一層加古川支部を盛り上げたいと思います。

皆様方におかれましてはお忙しい事と存じますが、ボーリング大会・新年会共に豪華景品を取り揃えますので、皆様のご参加 心よりお待ちしております。

奮ってご参加くださいますようにご案内します。
(厚生委員会)

日 時：令和7年2月7日(土)

○ボーリング大会

17:00より 受付

17:30 ゲーム開始

参加費：新春ボーリング大会 1,500円

会 場：「ニッケパークボウル」
加古川市加古川町寺家町 269-1
Tel (079) 427-8900

○新 年 会

19:15 受付

19:30 新年会開宴

参加費：新 年 会 5,000円

会 場：海鮮居酒屋しまに
加古川町篠原町 16-10
カノコビル2階
Tel 079-490-5878

右記QRコードから
も場所の確認ができ
ます



申込み期限 令和8年1月20日(火)

申込み方法 4面よりお申込みください。

当日連絡先 竹下 孝行 090-7113-1380
永田 康貴 080-3764-4179

「つながろうプロジェクト2025」に参加しました

昨年の10月18日(土)・19日(日)に開催されました本部事業「つながろうプロジェクト2025」に参加しました。参加者は19名(神戸支部2名、明石支部2名、加古川支部2名、姫路支部3名、豊岡支部7名、浜坂支部3名)です。つながろうプロジェクトは支部の枠を超えて広く会員が交流することで士会活動の活性化を目指す事業です。

日頃、交流することが少ない但馬ブロックの支部の方々と楽しく地域の歴史や文化を学びました。また、宿泊先では、遅くまでお酒を頂き、楽しい時間を過ごしました。

見学会は、18日(土)が①神子畑選鉱場跡(朝来市佐囊)、②名草神社(八鹿町石原)、③木の殿堂(香美町村岡区)。翌日の19日(日)は、④諸寄まち歩き(新温泉町諸寄)、⑤余部鉄橋跡

(香美町香住区)、⑥大乘寺、別名応挙寺(香美町香住区)です。

見学先では、地元教育委員会の職員や専門ガイド、施設職員の方々が懇切丁寧に案内してくださいました。見学の準備をしていただいた地元支部の方々には感謝です。

さて、これでは何が良かったのかわからないと言われそうなので、私が興味を覚えたところだけです。少し報告したいと思います。



① 神子畑選鉱場跡

① 神子畑選鉱場は隣接する明延鉱山から銅、亜鉛、錫を含む鉱石を神子畑までトンネルを通してトロッコ列車で運び、斜面を利用して選鉱していました。昭和 62 年の明延鉱山の閉山で操業を終了し、巨大な階段状選鉱場とルート状の大規模コンクリート基礎構造物が近代化産業遺産として残されています。明治、大正、昭和と近代化を支えた兵どもの夢のあと、郷愁が漂っていました。



② 名草神社 本殿

② 名草神社は、「妙見社」と呼ばれ八鹿町の妙見村に鎮座します。江戸時代から但馬国を代表する神社で内外から多くの巡礼参拝者が集まる豊作祈願の神社です。狭い山道を車で小一時間、注意深く登ると参道前に到着します。参道を登り境内に入ると左手に朱色の三重塔があり、その先の階段の上には立派な拝殿、その奥に本殿があります。木々に囲まれた山の中にこんなに立派な神社があ

るなんてと感動しました。三重塔は江戸時代に出雲大社から移築したとのこと。本殿の軒廻りの彫刻が見事です。少し前まで神社の境内に御師だけが暮らす里があり、里で亡くなった人が出ると葬儀は下の集落で行っていたそうです。初めて訪れたのですが、均整の取れた美しい神社でした。



③ 木の殿堂

④ 新温泉町の諸寄集落は、「枕草子」、「蜻蛉(かげろう)日記」など、古くから和歌にも詠まれた名勝地です。江戸時代には日本海方面から下関を経由、瀬戸内・大阪へ回漕する北前船の風待ち、潮待ち港として多くの廻船問屋、船宿が店を構え、人と物が行きかっていた。さて、港を見下ろす山腹に規模は小さいですが軒廻りや内部を精緻な造作、彫刻で仕上げられた為世永神社があります。かつては船主が奉納した 5 枚の彩色船絵馬が掲げられていましたが、彩色保護のため現在は集落内の八坂神社に掲げられています。

⑥ 大乘寺には 20 数年ぶりに訪れました。江戸時代中期の絵師円山応挙とその弟子たちが描いた障壁画を直接観られるお寺で有名です。実物を解説付きで観ると、没入感があるなーと感動していたら、



④ 諸寄まち歩き(為世永神社)

これはデジタル印刷画で本物は境内の収蔵庫に保管されているとのこと。デジタル印刷画は良く出来ていますが、本物を観るとやはり違うと案内の方から聞き、目を凝らして観るのを止めました。本物は 2 年後に再び展示されるそうです。ぜひ機会を作り、本物を観に来たいと思います。

見学会では、始めて訪ねたところ、既に訪れた

ところでも専門の方から説明を受けると一つ一つに深い意味があることを知り感慨深いものがあります。なにより、江戸時代は今と違い、日本海側の地域の方が経済的にも文化的にも豊かであったことがよくわかりました。

(前支部長・顧問 小西 敏文)

ええはなしやん 第 85 回



製図講習を開催して

今年も2級建築士製図講習を開催した。受講生も製図講習チームも本当によく頑張ってくれました。見事に合格です。

4月から毎日曜日、場所はうちの事務所。暑い日も雨の日も気持ちが折れそうな日も…積み重ねて来た時間。誰に強制された訳でもない。それでも机に向かい図面と向き合い続けた。その姿を私は間近ですっと見てきた。そして無事に講習を終えた。正直、楽やなって思った年は無かったけど、受講生にライバル不在が一番辛かった。

途中、10年前の教え子からの口利きで「来年度に向け製図の練習がしたい」と云う方が参加されました。急遽決まった講習参加、きっと予定も覚悟も簡単ではなかったと思います。

結果的には一度きりの参加となりましたが…それもその人の選択…とは思いつつ、心の中では色々な言葉が浮かんで消えたのも正直な所です。

又、県の副会長からも問い合わせもありました。けれどご縁になりませんでした。

この講習、「本気で向き合う覚悟」と「縁」が揃って初めて成立するんやなと改めて感じました。

9月7日、最終模擬試験。前支部長小西さんにも来て頂き、受講生共々気合いを注いでもらいました。本当にありがとうございました。

模試当日は、ほかのイベントと重なり慌ただしい中、東田青年部会長が駆け付け、添削をしてくださいました。

忙しい中時間を割いてくれる その姿勢こそが次の世代に伝わる「背中」なんだと思う。心から感謝しています。

そして毎年の事ですが、本試験に向け講習で伝え切れなかった事を資料にまとめ同日渡す鉛筆（合格鉛筆と呼んでいます）には御祈禱をし、お百度参りで願掛けをします。

やれる事は全部やった。あとは信じて送り出すだけ。本試験当日、それらを手渡し静かに見送りました。その背中を見ながら胸の奥で何度も願いました。「これまで積み重ねてきたものが、どうかカタチになりますように」

今年の本試験は未完が目立ったと聞きました。後日、受講生が再現してくれた一式図をチェックしてようやく今年の講習がおわります。

講習時間はのべ150時間超、その一時間一時

間に迷いも、成長も全部詰まっていました。

本試験では講習で教え切れなかった内容にも対応していました。「やっぱり合格する人は自分から深く学んだら」与えられた事だけでなく、自分で掘り下げている。だから強い！

一生懸命に頑張る受講生の姿を見て、わたし自身も心を動かされます。諦めかけていたことにもう一度向き合ってみよう、そんなそんな気持ちが自然と湧いてきます。

学び続けるのは簡単じゃない。でも、だからこそ大切ななやと想います。

今年も受講生から「生きていくうえで大切なこと」を教えてもらいました。ありがとう。感謝の気持ちが溢れてきます。

ほんまにほんまに ありがとう

(理事 松本 有司)

11/23(日)・24(月) 研修旅行の感想(福井)

当日は晴天に恵まれ、温かく、まさに旅行日和だと感じました。私は、初めての研修旅行参加でしたが、さすが建築士会のメンバーが揃っていることもあり、街の風景に対する目の付け方が皆様独特で感激しました。

気比神宮は紅葉との相性抜群でした。



東尋坊

東尋坊は学生時代以来8年ぶりの訪問でしたが、当時は足を踏み入れなかったところまで歩き、さらなる楽しみ方を味わえました。

夕食はカニを中心とした豪華料理。色々な話で盛り上がりました。色々あって疲れたので、同じホテルの長尾さんより早く、夜9時ごろに寝ました。

2日目は二日酔い?+乗り物酔いでやや体調が優れずでしたが、皆様のサポートもあり、何とか観光することができました。

恐竜博物館も学生時代訪れてある程度は知っていましたが、今回私は中に入らず、記念撮影のみでした。



恐竜博物館

平泉寺は、お寺好きの私にとっては、最高の癒しスポットでした。後はのんびり帰るだけ。

もう少しいろいろ見て回っていたかったですが、大勢で旅行に行く機会もなかなか無いので、楽しめたと思います。

(青年部 岡本 大樹)

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

本年も支部だよりよろしくをお願いします。

昨年号の新年号に、『「2025年、日本は再び蘇る兆しを見せるであろう。2050年になったら、列強は日本の底力を認めざるを得なくなるであろう」と哲学者であり教育者の森信三氏は晩年予見されました。

ほんまかいな？と思いつつも、予見を現実のものにするのは、私たち自身であるということに気づいたとき、何をすべきかが見えてくるのかもしれない。』と書かせていただきました。

その2025年が過ぎ、世界が変な方向に進んでいっているように思います。今こそ、『和を以て貴しとなす』という精神で、日本が中心的な役割を果たしてほしいなあと願っています。

さて、支部長の新年の挨拶に「本年も参加した皆様が感動出来る多彩な行事を予定しております」という言葉がありました。

その手始めが、新年会&新春ボーリング大会ではないかと思います。多くの方が参加して交流を深めてほしいと思っています。

京セラ創業者の稲盛和夫氏が提唱した、単なる飲み会ではなく、経営者と従業員が本音で語り合い、組織の一体感と成長を促すための「究極の場」という『稲盛式コンパ』が私の中では、今年の一押しです。

経営者と従業員というところを言い換えれば、どんな組織にも当てはまるように思います。皆様も一度調べてみてください。

最後に、前支部長・顧問の小西敏文さん、ほんまに「ええはなしやん」の理事の松本有司さん、青年部の岡本大樹さん、それぞれの個性の出た記事をありがとうございました。

「午年挨拶」と入力するとAIが「ウマくい」「駆け抜ける」「前進」などの言葉を使い、「万事ウマくいく年になりますように」といった、ダジャレや縁起の良い表現が定番です。と出てきました。

最後になりましたが、皆様にとって、今年は午年だけに、『万事ウマくいく年になりますように』祈念いたします。

(広報委員会 委員長 高橋 賢吉)

連絡・参加申込書

メールかFAXで送付してください。(郵便可)

※ 住所・連絡先等の変更は必ずお知らせください。(個人情報保護法に基づき管理致します)

事業名	参加 参加される場合は○印を	参加者氏名	緊急連絡先
新春 ボーリング大会		氏名	電話
新年会			
連絡表			

公益社団法人 兵庫県建築士会 加古川支部

事務局／吉備建築設計室内 Tel・Fax 079-423-6350

支部長 坂上 浩司 直通 TEL：090-8750-9055

E-mail：kentikusikai.kakogawasibu.2025@gmail.com

